

2012 山歩き初めは、城山！

幸多き1年となりますように・・・



城山山頂 (写1)



展望台 (写2)

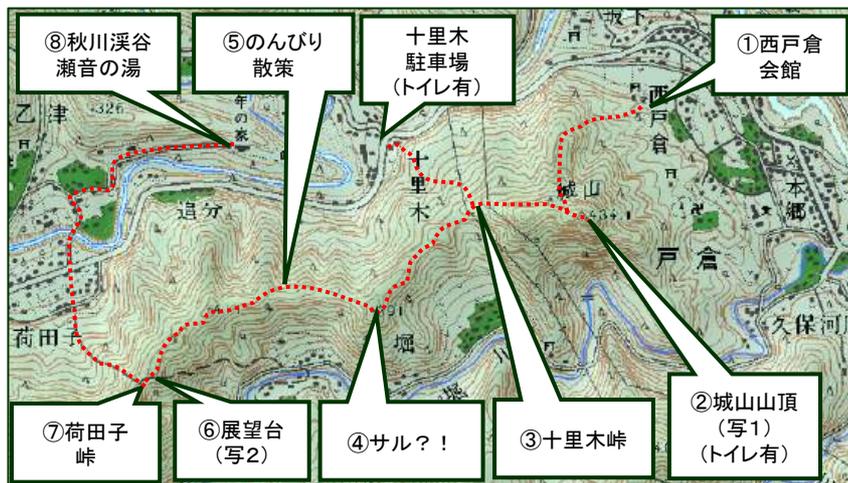
冬は寒くてコタツに入っていたい…
わかります！！で・す・が、冬は空気が澄んでいて、素晴らしい景色を楽しむことができるんです。

冬のおすすめコースをご紹介します。

- ①西戸倉会館から、城山に登ります。
- ②いい景色！！スカイツリーが見えるかな？！【ランチポイント】(写1)
- ③疲れた方は、十里木駐車場へ。
瀬音の湯も近いです。
- ④野生のサルがいる気配を感じます。
- ⑤尾根沿いは暖かく景色も最高！

様々な植物や鳥類も観察できます。私の好きな尾根道です。【ランチポイント】

- ⑥展望台から見える馬頭刈周辺の山々と集落。馬頭刈登山もおすすめですよ！(写2)
- ⑦少し急な下りですが、ロープを使ってゆっくり下りてください。
- ⑧瀬音の湯でゴール。ゆったり、疲れた体をほぐしてください♪ (ゆっくり4時間、約4kmコース)



★
ゴミは持ち帰りましょう
動植物を大切に

里山遊びをしよう！（12月3日）



菅生若宮子ども体験の森で、里山遊びをしよう！を実施しました。外はあいにくの大雨…
森の探検や基地づくりは中止となりましたが、わら細工でカメを作りました。菅生のわら細工名人“としちゃん”の指導のもと、22名の参加者のみなさんは、親子で力を合わせて1つのカメを完成させることができました！！

昔は俵、わらじなどで利用されていたわら。今では、わらにとって代わる素材が多く、その利用も少なくなっています。菅生では田んぼが減り、そこをすみかとしていた生き物も、昔に比べて少なくなると、としちゃんは話してくれました。田んぼに住む生き物たちのためにも、お米を食べることやわら細工などの文化を守り伝えていくことが大切だ、と改めて感じた1日でした。(加瀬澤)



今月のトピックス

トウキョウサンショウウオ・産卵の準備



かつてトウキョウサンショウウオが分布していたエリアの中に作ったビオトープ(池)。春に産卵が行われることを期待しています。沢沿いの雑木林の中で、最高水深は約30cmです。

今年も2月下旬頃から、あきる野の里山環境に生息する希少な両生類「トウキョウサンショウウオ」の産卵期が始まります。

土地利用の変化などによる産卵場所の減少やアライグマの捕食などにより、個体数や卵のうの数が減少しているため、様々な保護対策が必要とされています。水田、池、湿地などのビオトープを復活させることも一つの対策になります。そこで、市内の良好な自然が残っている場所に池を作ってみました。

かつて、トウキョウサンショウウオは市内に広く分布していましたが、現在はそれぞれの分布域が繋がっていない、狭い範囲にしか生息していません。そのため、水の流れがない池などの産卵に適した環境を作っても、利用してくれるまでに時間がかかる可能性があります。しばらくは、トウキョウサンショウウオがやって来なくても、そのうち産卵場所として利用してくれることを願うしかありません。

しかし、池などのビオトープは他の生物にとっても良い生息環境になるため、ビオトープを作ることに意味があると思います。

皆さんも、あきる野の自然、あきる野の希少な生物のために、具体的にできること、例えば、ご自宅の庭先などに生物に優しい環境を作ってみてはいかがでしょうか。

今年の積雪

深沢林道
周辺の森
の様子
(12月8日)

この冬の
2回目の
雪で、昼
間には5
cm以上の
積雪を確
認しまし
た。



12月に入り、真冬並みの厳しい寒さが急にやって来ました。早速、12月2日に馬頭川尾根や大岳周辺に雪が積もったことを確認しました。

昨年のは奥山の戸倉や小宮地区の林道終点付近で、30cm以上の積雪が記録されましたが、今年の冬も、1月から2月にかけて積雪が予想されます。

奥山では日影の場所が多いため、雪が長く残る場所も発生しますので、冬の山に行く方は十分気を付けてください。

エコプロダクツ2011に出展

12月15日～17日に行われた日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2011」で、あきる野市の「郷土の恵みの森づくり」として森林レンジャーの活動などを紹介しました。多くの来場者に、あきる野の自然の素晴らしさを伝えることができました。



森っこサンちゃん

また、17日には「クロモジの菓子楊枝作り」体験を実施し、約1時間、参加者に作り方の指導をしました。

(パブロ)

